

平成27年度行政評価 施策評価シート（平成26年度実績）  
施策名 医療体制の充実

施策コード 030504

1. 施策の担当	
主管課	健康福祉部 保健センター
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第3章 やさしさとふれあいのあるまちづくり（安心・健康）	節 第5節 健康・医療
	施策	医療体制の充実	

基本方針
地域の災害、救急、周産期及び小児医療を担い、高度医療及び先進医療が安定的に提供できるよう支援します。

現況と課題
・りんくう総合医療センターは地方独立行政法人の特徴を活かし、地域医療機関との連携及び役割分担のもとで、高度・先進医療を提供する地域の中核病院として、周産期、救急（2次救急・3次救急）及び災害医療で広域的な役割も果たしています。 ・近年の医療制度改革や診療報酬改定、医師不足など医療を取り巻く環境が厳しくなっており、公的使命を堅持するため、効率的な運営を求めていくとともに、安定的な医療の提供ができるよう支援する必要があります。 ・平成24年5月実施の市民アンケート結果から判断すると、重要性が高く満足度が低い施策と位置づけられますので、満足度を上げる必要があります。

施策目標
対象（誰を、何を、どこを）
市民及び医療圏住民
意図（どのような状態にしたいのか）
泉州南部の初期救急、二次救急、周産期医療体制の充実を図る。

3. 市民ニーズ							
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
満足度（偏差値）			39.5				
重要度（偏差値）			70.4				

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	単位	H25決算	H26決算				
	事業費	千円	10,376	9,596				
	フルコスト		73,605	86,644				
財源内訳	国庫支出金	千円	83,981	96,240				
	府支出金							
	市債							
	その他		46,167	53,330				
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		37,814	42,910				
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		27,438	33,314				

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		病床利用率					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	91.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
実績値	82.4	78.0	85.8	87.9	90.8		
達成度	90.54	84.78	93.26	95.54	98.69		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
りんくう総合医療センターの入院の稼動状況を把握することにより、地域医療体制が充実されているかの指標となるため。		過去の実績から予測し、目標値を設定した。		H23年度より市立泉佐野病院が独立行政法人りんくう総合医療センターとして独法化。			

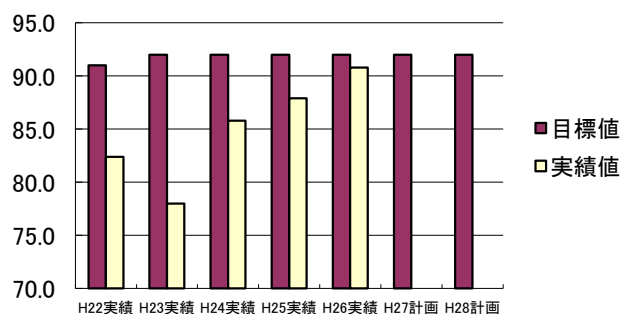
② 成果指標 2		紹介率					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
実績値	56.8	51.9	53.1	57.5	61.2		
達成度	94.66	86.5	88.5	95.83	102.0		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
りんくう総合医療センターの他医療機関から紹介を受けて受診した患者と救急車で搬送された患者の初診患者数に対する割合を示している。この指標により地域と連携した医療体制が充実されているかが分かる。		地域医療支援病院の認定を目指すため60%と設定した。		H23年度より市立泉佐野病院が独立行政法人りんくう総合医療センターとして独法化。			

③ 成果指標 3		時間救急外来患者数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値				3,000.0	3,500.0	3,700.0	3,700.0
実績値				3,676.0	4,005.0		
達成度				122.53	114.42		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
りんくう総合医療センターは、泉州救命救急センターと統合して、重症救急患者の幅広い受入、病床全稼働をできるよう救急医療体制の充実に取り組んでいる。この数値により、時間外においても救急医療体制が充実しているかがわかる。		平成25年度より追加した指標で、りんくう総合医療センターと泉州救命救急センターが時間外に受け入れる救急患者数。		H23年度より市立泉佐野病院が独立行政法人りんくう総合医療センターとして独法化。			

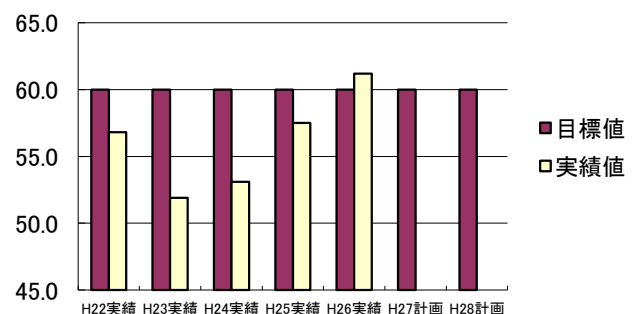
④ 成果指標 4		患者の満足度					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	96.0	96.0	96.0	96.0	98.5	98.5	98.5
実績値	96.5	96.9	96.2	98.0	95.7		
達成度	100.52	100.93	100.2	102.08	97.15		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
りんくう総合医療センターを利用している外来患者及び入院患者に対するアンケートでの大変満足・やや満足の割合を把握することで、医療体制充実度がわかる。		患者の意見を参考に少しでも満足度を高めるため設定しているが、近年の実績を踏まえ、26年度以降の目標値を98.5%に変更した。		H23年度より市立泉佐野病院が独立行政法人りんくう総合医療センターとして独法化。			

⑤ 成果指標 5		休日診療所の年間診療時間					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値		643.0	650.0	650.0	650.0	650.0	650.0
実績値		643.0	644.0	647.0	644.0		
達成度		100.0	99.07	99.53	99.07		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
休日診療所の年間診療時間を把握することで、市民が受診できる救急医療体制の充実度がわかる。		医師等の確保が困難であり、当面は従前と同様の土曜日準夜間及び日祝、年末年始の診療時間を維持することを目標とする。		土曜日は午後6時から午後9時まで、休日は午前10時から午後5時まで診療。			

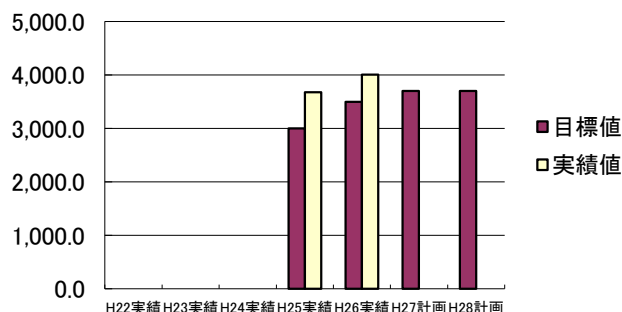
成果指標①



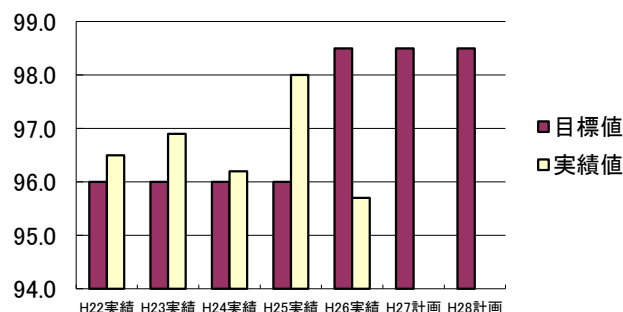
成果指標②



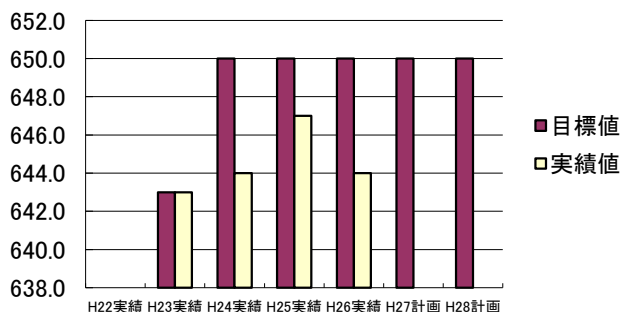
成果指標③



成果指標④



成果指標⑤



## 6. 施策の事後評価

	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	りんくう総合医療センターは財務や医療職の人材確保など運営に課題はあるものの、その解決に取り組みながら、医療水準の向上に努めている。休日夜間診療については、特に小児科医の確保が困難になってきているが、各機関の協力を得ながら、規定時間の診療を確保できた。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 1	必要性は高い施策ではあると考えられるが、救急を含めた地域医療体制が充実しつつありながらも、市民にとっては、満足度において不十分と判断されている。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	休日夜間診療においては、医師不足により、現状の運営体制を維持するのも困難な状況にあるが、医師会、近隣の中核病院等とも連携を図り、医師確保していく必要がある。H26年度にはりんくうタウンに泉州南部初期急病センターを開設したこともあり、一次・二次・三次救急医療の体制強化を図っていく。
	合計点	(10点中) 8点	
	総合評価	B	りんくう総合医療センターは、厳しい運営環境にさらされながらも、高い医療水準を維持し、地域に貢献してきた。今後も、更に効率的な運営に取り組むつつ、住民に安全安心な医療を提供していくとしている。また、泉州南部初期急病センターは、新築移転ということもあり、利用環境が格段に改善された。しかし、医師確保の面で難しい状況にあり、各関係機関に協力を求めながら、診療体制を維持していかなければならない。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		B	引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		B	引き続き目標値の達成に努めること。

## 7. 施策を構成する事務事業

事務事業			H26年度決算額			H27年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01027100	地域医療推進事業	156	28,025	28,025	36,190	B
2	01027110	泉州医療圏二次救急医療対策事業	78	3,690	3,690	4,218	B
3	01083070	初期急病センター運営事業	5,837	51,032	1	45,437	B
4	01083080	初期急病センター施設管理事業	3,525	3,897	1,598	4,390	B
合計			9,596	86,644	33,314	90,235	